

緑内障



緑内障

眼の増加により、網膜神経細胞が障害を受けて失明する疾患です。環境性と遺伝性があり、半数が遺伝性とされています。

代表犬種

シーズー、ビーグル、柴犬、豆柴 他

発症年齢

3～7歳が多いが、柴犬は3～14歳（平均8歳）

変異遺伝子保有率※

シーズー の場合 91.2%

※2016～2020年で検査した株式会社VEQTA のデータより。変異保有率とはキャリアもしくはアフェクテッドと診断された頭数を検査した全頭で割った時の割合です。

ノーマル（クリア） AA

野生型のみ検出される（変異が検出されない）場合です。
その遺伝子変異が原因となる疾患の**発症リスクは低い**です。またその遺伝子変異による疾患は後代に遺伝しません。

キャリア（ヘテロ接合） Aa

野生型と変異型の両方が検出される場合です。
その遺伝子変異が原因となる疾患の**発症リスクは低い**です。

ただし、他のキャリア、もしくはアフェクテッドの個体との繁殖は、対象となる疾患の発症リスクが高い子が生まれる可能性があるため、配慮が必要です。

アフェクテッド（変異ホモ接合） aa

変異型のみ検出される場合です。
その遺伝子変異が原因となる疾患の**発症リスクは高い**です。

遺伝子は父親と母親からそれぞれ受け継いだものがペアになっています。右図のように片側に変異を持つ場合はヘテロ接合となり、劣性遺伝の場合はキャリアと表記します。

